

京都府の地震活動

令和3年（2021年）4月

第34巻第4号

京都地方気象台

目次

震央分布図、概況	・・・1
震央分布図、断面図	・・・2
京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度一覧表	・・・3
京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図	・・・4
【地震一口メモ】京都府内の活断層について	・・・6

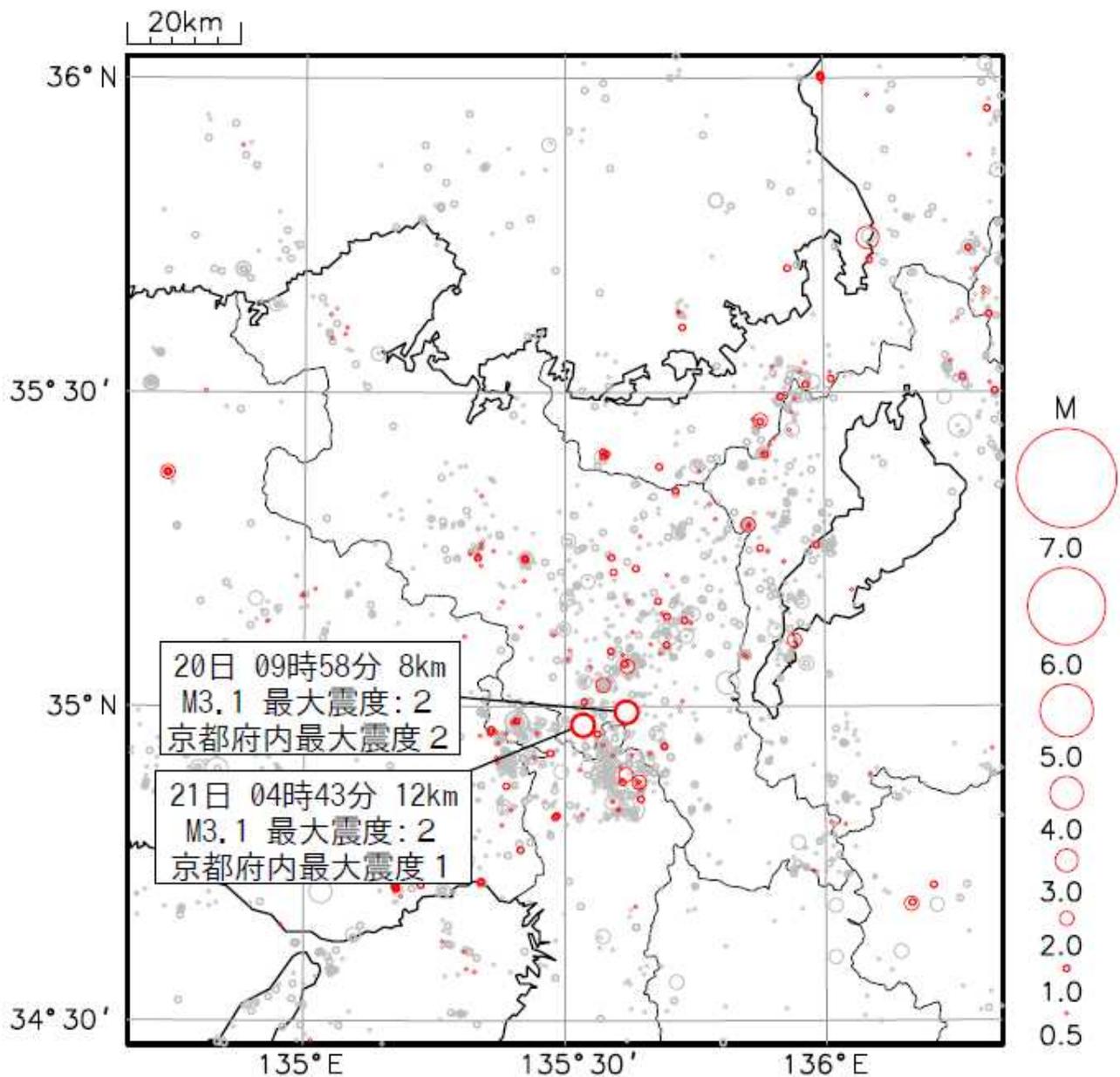
『京都府の地震活動』は、京都府及びその周辺の地震活動状況を解説するとともに、地震防災知識の普及に資するため、毎月刊行しています。

本誌に掲載した震源要素、震度データは、再調査された後、修正されることがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

震央分布図（マグニチュード0.5以上、深さ0～80km）



- ・（2020年5月1日～2021年4月30日、深さ0～80km、 $M \geq 0.5$ ）
- ・2021年4月の地震を赤く表示（総数219）
- ・震源を表す「○」の記号は、マグニチュード（M）の大きさに対応したサイズで表記。
- ・震度1以上を観測した地震には、日時、深さ、マグニチュード（M）、最大震度及び京都府内で震度を観測した地震については京都府内最大震度を付記。

概況

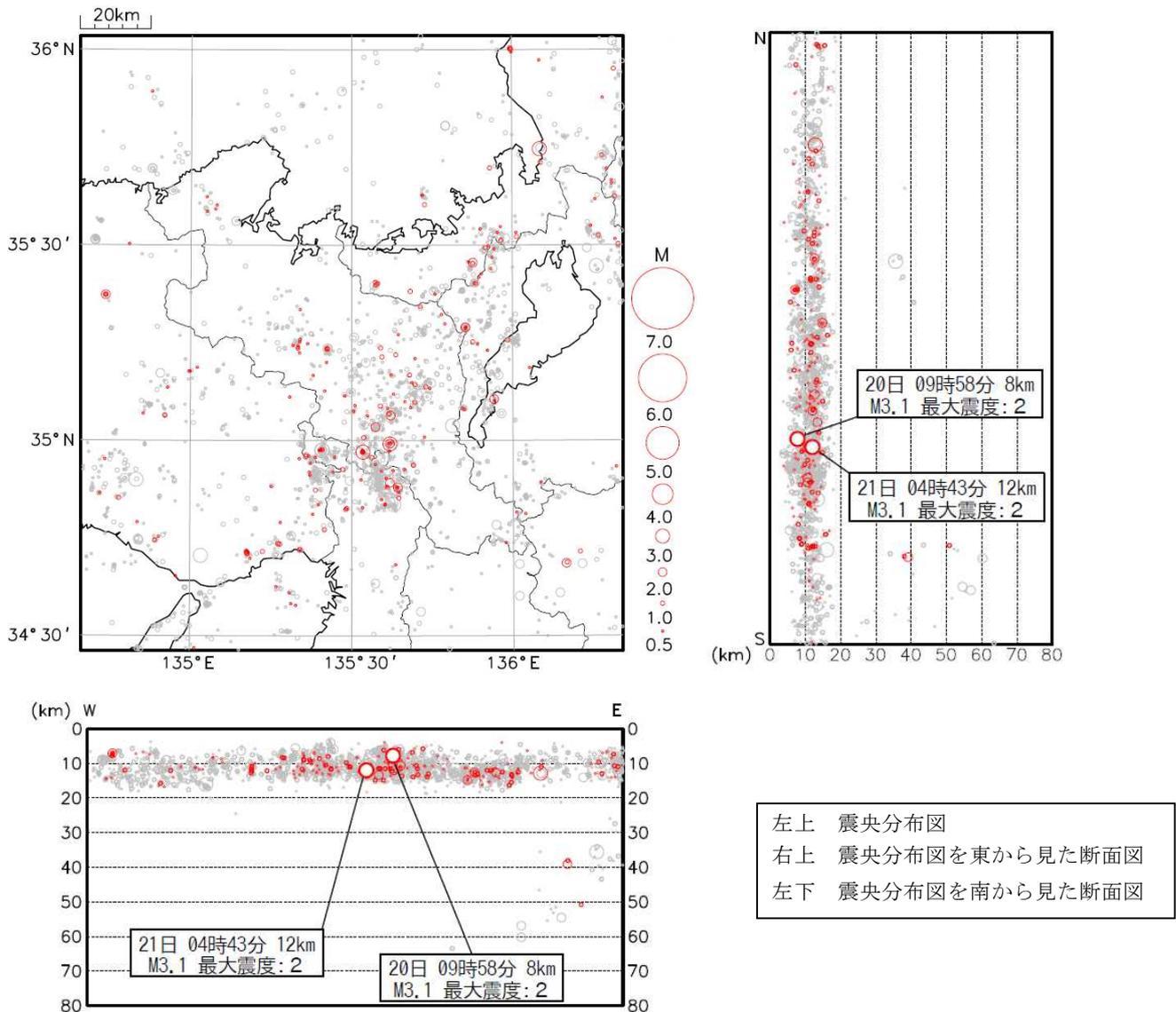
4月中、震央分布図内で観測したマグニチュード2.0以上の地震は13回、震度1以上の揺れを観測した地震は5回でした（3月はそれぞれ8回、1回）。

京都府内で震度1以上の揺れを観測した地震は2回ありました（3月は1回）。

20日09時58分 京都府南部の地震（M3.1、深さ8km）により、京都市西京区・亀岡市・向日市で震度2を観測したほか、大阪府、京都府、兵庫県で震度2～1を観測しました。

21日04時43分 京都府南部の地震（M3.1、深さ12km）により、京都市中京区・京都市下京区・京都市伏見区・亀岡市・向日市・長岡京市・八幡市・南丹市・大山崎町で震度1を観測したほか、大阪府と京都府で震度2～1を観測しました。

震央分布図、断面図（マグニチュード0.5以上、深さ0～80km）



- ・ (2020年5月1日～2021年4月30日、深さ0～80km、 $M \geq 0.5$)
- ・ 2021年4月の地震を赤く表示（総数219）
- ・ 震源を表す「○」の記号は、マグニチュード（M）の大きさに対応したサイズで表記。
- ・ 震度1以上を観測した地震には、日時、マグニチュード（M）、最大震度を付記。

深さ数 km～約 20km に分布している地震は陸側のプレート内で発生した地震（地殻内地震）、深さ約 30km～約 60km に分布している地震は、沈み込むフィリピン海プレート内の地震です。

※2021年4月20日9時58分に発生した京都府南部の地震は、ほぼ同時刻に複数発生したことにより、震度の分離ができないものです。そのうち、最も規模の大きい地震について吹き出しをつけています。

京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度一覧表 (2021年4月)

番号	観測日時		震央地名	北緯	東経	深さ	規模
	月日	時分		(度分)	(度分)	(km)	(M)
①	4月20日	09:58	京都府南部	34°59.4'	135°37.1'	8	3.1
②	4月21日	04:43	京都府南部	34°58.2'	135°32.1'	12	3.1

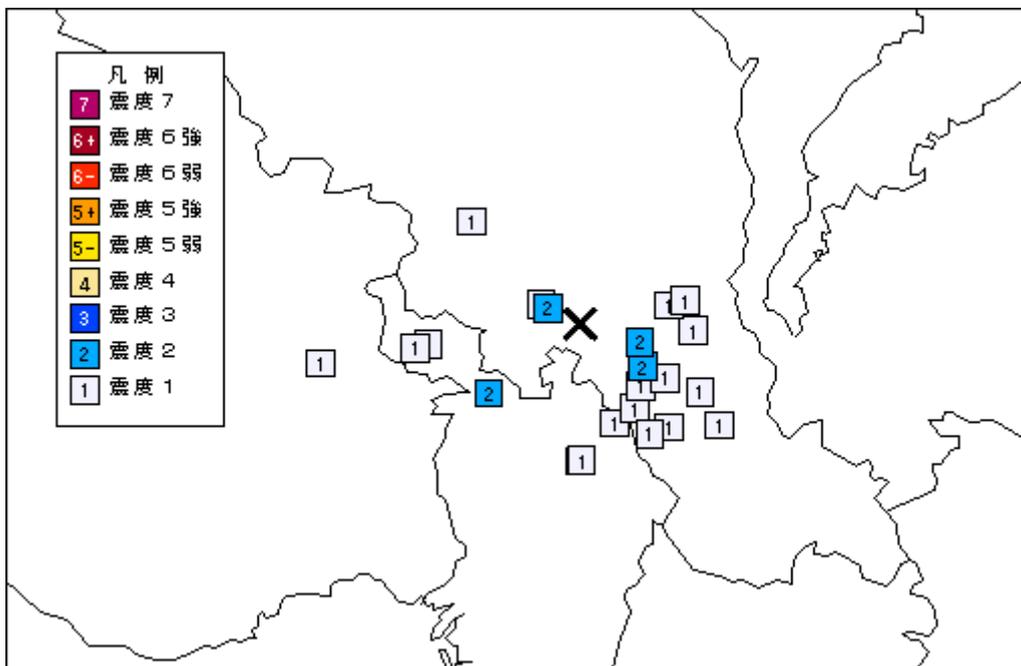
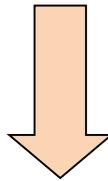
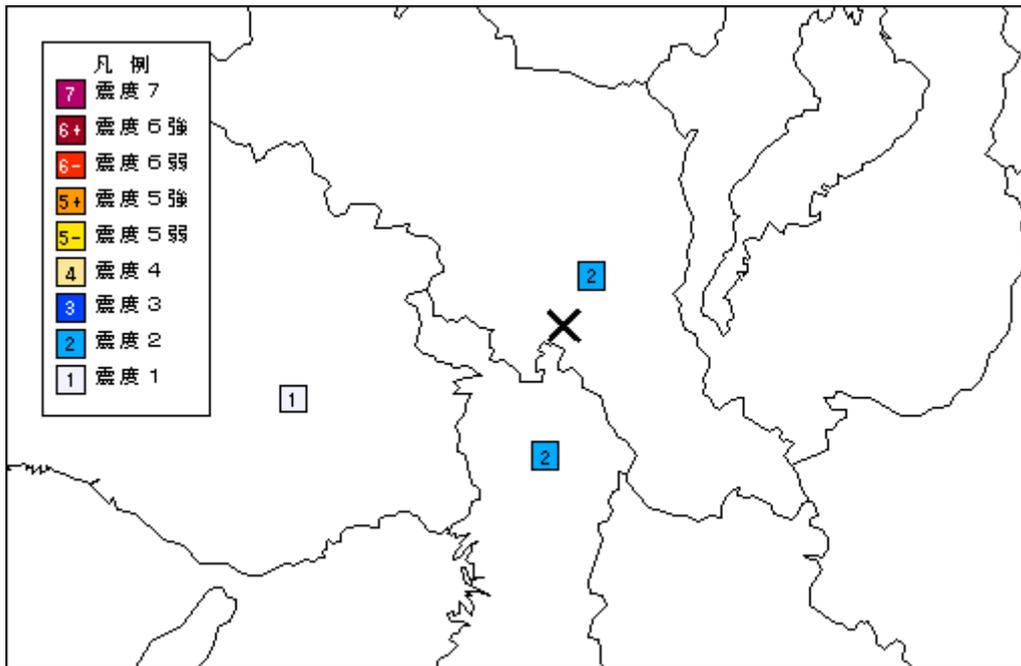
地域	震度観測点	所属	各地の震度	
			①	②
北 部	福知山市内記	気	-	-
	福知山市長田野町	防	-	-
	福知山市三和町千束	自	-	-
	福知山市夜久野町額田	自	-	-
	福知山市大江町河守	自	-	-
	舞鶴市下福井	気	-	-
	舞鶴市浜	防	-	-
	舞鶴市北吸	自	-	-
	綾部市若竹町	自	-	-
	宮津市柳縄手	自	-	-
	伊根町亀島	防	-	-
	伊根町日出	自	-	-
	京丹後市弥栄町吉沢	気	-	-
	京丹後市久美浜町広瀬	防	-	-
	京丹後市峰山町	自	-	-
	京丹後市大宮町	自	-	-
	京丹後市網野町	自	-	-
	京丹後市丹後町	自	-	-
	京丹後市弥栄町溝谷	自	-	-
	京丹後市久美浜市民局	自	-	-
南 部	与謝野町加悦	自	-	-
	与謝野町岩滝	自	-	-
	与謝野町四辻	自	-	-
	京都北区紫竹	自	-	-
	京都北区中川	自	-	-
	京都上京区藪ノ内町	自	1	-
	京都上京区今出川御前	自	-	-
	京都左京区広河原能見町	防	-	-
	京都左京区田中	自	-	-
	京都左京区鞍馬	自	-	-
	京都左京区花脊	自	-	-
	京都左京区岩倉	自	-	-
	京都左京区大原	自	-	-
	京都中京区西ノ京	気	1	1
	京都中京区河原町御池	自	-	-
	京都東山区清水	自	-	-
	京都下京区河原町塩小路	自	1	1
京都南区西九条	自	-	-	
京都右京区京北周山町	自	-	-	
京都右京区太秦	自	-	-	

地域	震度観測点	所属	各地の震度	
			①	②
南 部	京都右京区嵯峨	自	-	-
	京都右京区嵯峨嵯原	自	-	-
	京都伏見区竹田	自	-	-
	京都伏見区醍醐	自	-	1
	京都伏見区向島	自	1	-
	京都伏見区淀	自	-	-
	京都伏見区久我	自	1	-
	京都山科区安朱川向町	防	-	-
	京都山科区西野	自	-	-
	京都西京区櫻原	自	1	-
	京都西京区大枝	自	-	-
	宇治市宇治琵琶	気	1	-
	宇治市折居台	防	-	-
	亀岡市安町	気	1	1
	亀岡市余部町	防	1	-
	城陽市寺田	自	-	-
	向日市寺戸町	自	1	1
	長岡京市開田	自	1	1
	八幡市八幡	自	1	1
	大山崎町円明寺	自	1	1
	久御山町田井	自	1	-
	京田辺市田辺	自	-	-
	井手町井手	自	-	-
	宇治田原町立川	自	-	-
	笠置町笠置	自	-	-
	和束町釜塚	自	-	-
	精華町南稲八妻	自	-	-
	南山城村北大河原	自	-	-
	京丹波町坂原	気	-	-
京丹波町蒲生	自	-	-	
京丹波町橘爪	自	-	-	
京丹波町本庄	自	-	-	
南丹市美山町島	自	-	-	
南丹市園部町小桜町	自	1	1	
南丹市八木町八木	自	-	1	
南丹市日吉町保野田	自	-	-	
木津川市山城町上狛	自	-	-	
木津川市加茂町里	自	-	-	
木津川市木津	自	-	-	

注1：所属のうち、「気」は「気象庁」、「防」は「防災科学技術研究所」、「自」は「自治体」を示しています。

注2：表○数字は、4月に京都府内で震度1以上の揺れを観測した地震番号を表しています。

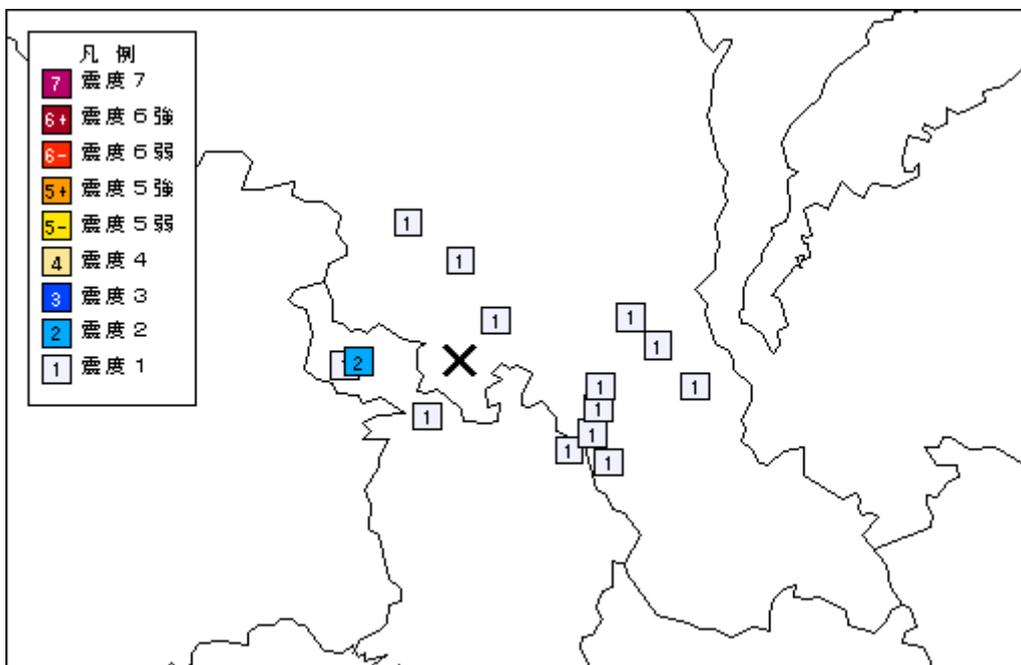
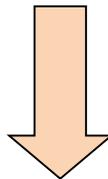
① 京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図
(上図：地域別、下図：観測点別)



4月20日 09時58分 京都府南部の地震 (M3.1、深さ8km)

(図中の×印は震央位置)

② 京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図 (上図：地域別、下図：観測点別)

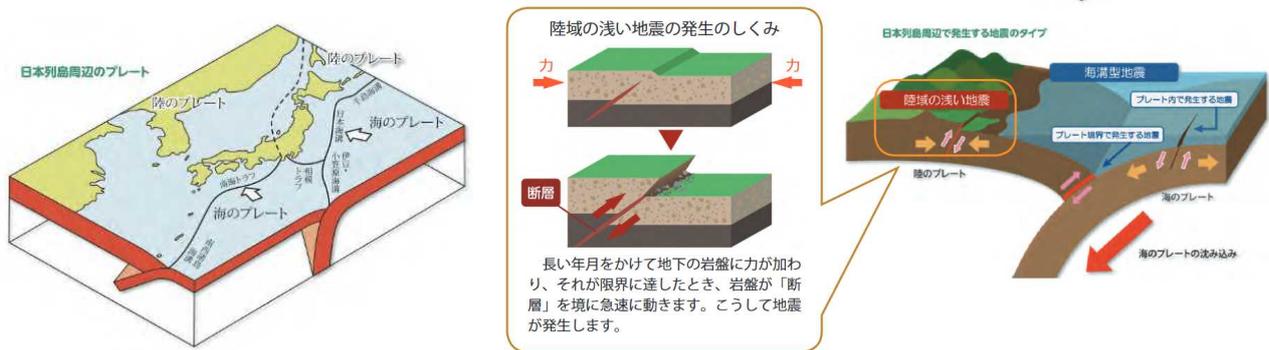


4月21日 04時43分 京都府南部の地震 (M3.1、深さ12km)

【地震一口メモ】

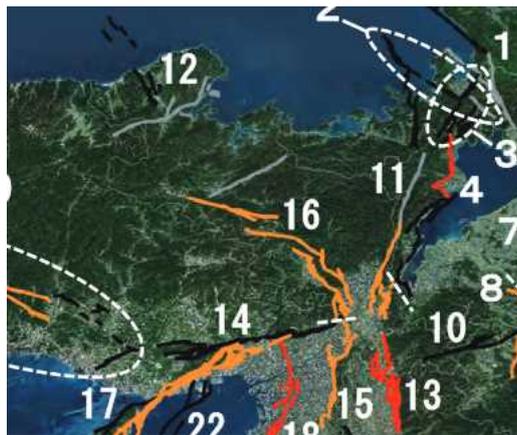
京都府内の活断層について

地球の表面は十数枚の巨大な板状の岩盤（プレート）で覆われており、それぞれが別々の方向に年間数 cm の速度で移動しています（プレート運動）。日本列島周辺では、複数のプレートがぶつかりあっており、岩盤の中に大きなひずみが蓄えられています。そのひずみが限界に達したときに岩盤が割れ、割れ目に沿って岩盤同士がずれ動くことによって地震が発生します。このように岩盤に生じた割れ目が食い違った状態を断層と言います。また、過去に繰り返し地震を起こし、将来も地震を起こすと考えられている断層を「活断層」と呼びます。



政府の地震調査研究推進本部では、規模の大きい地震が発生する可能性のある全国約 100 の主要な活断層について、事前にその場所を特定して過去の活動履歴を調べることで、将来発生する地震の長期的な発生の予測（長期評価）を行っています。

京都府内の主要な活断層は、三方・花折断層帯、山田断層帯、三峠・京都西山断層帯があり、その内京都府を縦断している三峠・京都西山断層帯（赤枠）は、A ランク評価となっており、今後 30 年間で再び大きな地震の発生する確率が高いとされています。しかし、発生確率不明（Z ランク）の活断層もあります。

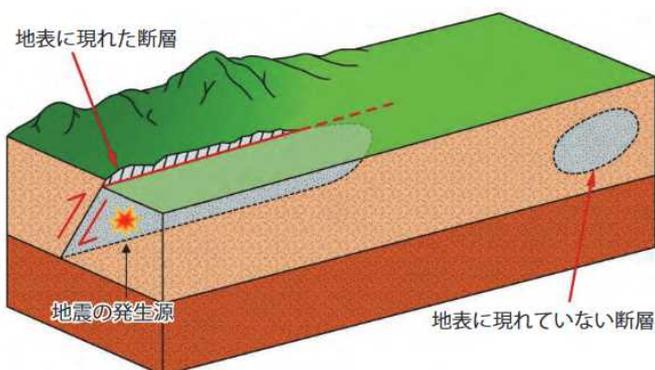


11	三方・花折断層帯	(三方断層帯)	7.2 程度	Z ランク	1662 年に地震を起こしたと推定される。
		(花折断層帯 / 北部)	7.2 程度	X ランク	1662 年に地震を起こした可能性がある。
		(花折断層帯 / 中南部)	7.3 程度	A * ランク	
12	山田断層帯	(主部)	7.4 程度	X ランク	
		(郷村断層帯)	7.4 程度もしくはそれ以上	Z ランク	1927 年に北丹後地震を起こした。
13	奈良盆地東縁断層帯		7.4 程度	S * ランク	
14	有馬一高根断層帯		7.5 程度	Z ランク	1596 年に慶長伏見地震を起こしたと推定される。
15	生駒断層帯		7.0 ~ 7.5 程度	A ランク	
16	三峠・京都西山断層帯	(上林川断層)	7.2 程度	X ランク	
		(三峠断層)	7.2 程度	A ランク	
		(京都西山断層帯)	7.5 程度	A * ランク	

では、主要な活断層から離れている場所だと大きな地震は起きないかというところではありません。活断層は、あくまで人間による調査により、地表付近で見つかった断層のことで、長年の浸食や堆積により隠れてしまっている場合もあります。また、地震の規模がある程度大きくなければ地表に断層が現れないこともあります。

したがって、お住いの地域や防災関係機関等の場所が活断層から遠い場所でも、いつでも大きな地震が発生する可能性があります。地震調査研究推進本部の主要活断層評価は、参考にさせていただきつつも、日ごろから十分な備えをお願いします。

活断層がない場所では、地震は起きない？



詳細については、気象庁 HP に「活断層の地震に備える」としてパンフレットが掲載されていますので、「近畿地方版」をご覧ください。

気象庁 HP 「活断層の地震に備える -陸域の浅い地震-

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/katsudansou/index.html>

地震調査研究推進本部 HP

<https://www.jishin.go.jp/>